## 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

### 広島県 尾道市

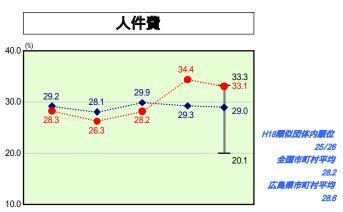
### 経常収支比率の分析

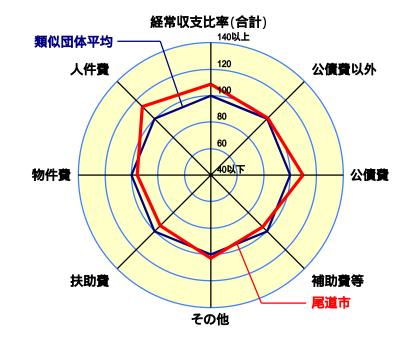


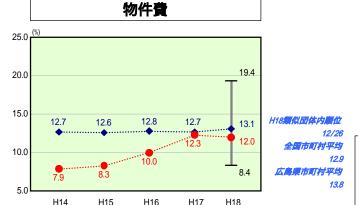


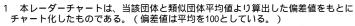
93.5



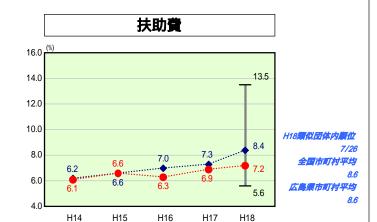








- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 1 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



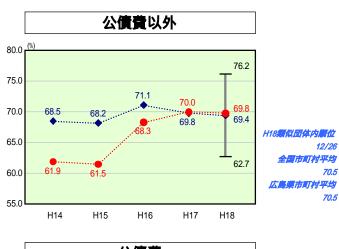
#### 分析權

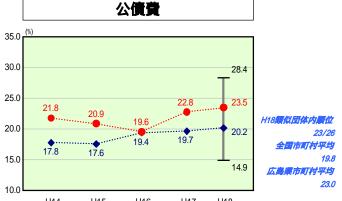
[人件費] 類似団体平均と比較すると、33.1%と依然高い水準にある。これは、ごみ処理業務、消防業務を一部事務組合ではなく直営で行っていることに加え、市立の尾道大学を有していることなどが主な要因である。また、実質の人件費負担を人口1人当たりの支出額でみると、企業会計への繰出しも関係して、類似団体平均を24%あまり上回る結果となっている。今後とも集中改革ブランに沿い、機構改革や事務事業の見直しにより平成23年で職員数5.2%減をめざす。

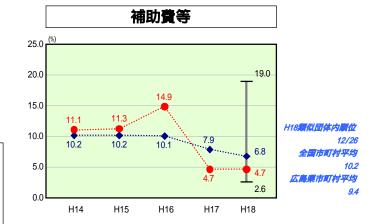
「物件費」類似団体平均をやや下回っている。今後とも、内部経費の抑制に努めるとともに、委託業務内容の見直しなどを進める。

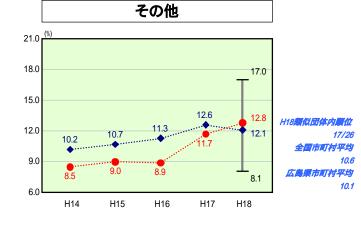
【扶助費】類似団体平均と比較すると、7.2%とやや低い水準にある。これは、保育所の直営比率が2/3と高いために、結果として私立保育所にかかる扶助費が低いことが主な要因となっている。今後は、集中改革ブランに沿って、幼・保一元化も含めて検討を進める。 【公債費】類似団体平均と比較すると、23.5%と高い水準にある。これは、合併により一部事務組合の債務を継

【公債費】 類似団体平均と比較すると、23.5%と高い水準にある。これは、合併により一部事務組合の債務を継承したことから普通会計の直接償還額が多いためである。一方、実質的な公債費負担は、公営企業や一部事務組合への負担、債務負担行為に係るものが低い水準にとどまっているため、実質公債費比率は平均を下回っている。しかし、今後は、新市建設計画事業による合併特例債の発行が多額になるため、新規発行を必要最小限にとどめて、残高の増加を抑え、過度な公債費負担をまねかないよう努める。



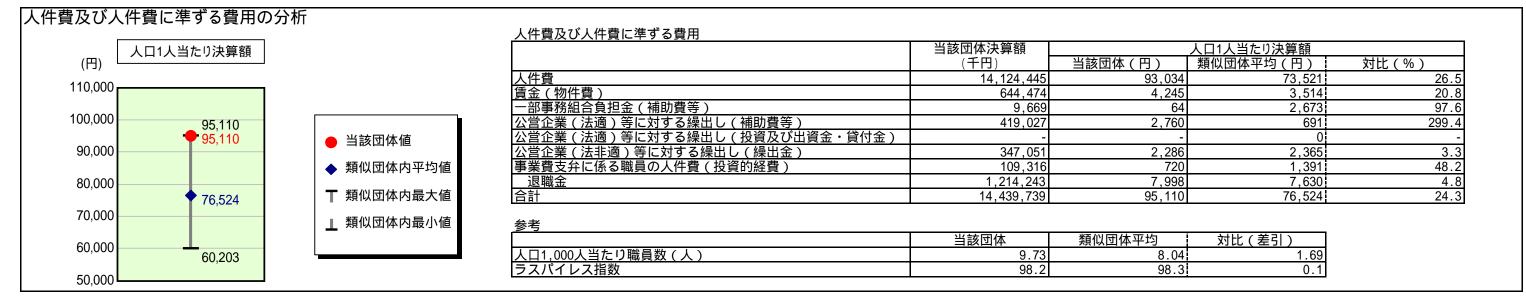






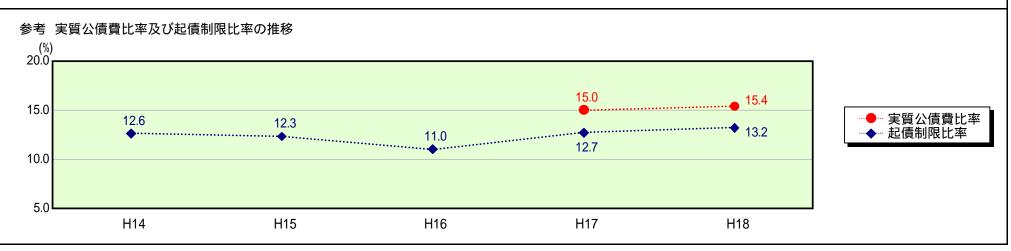
## 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

### 広島県 尾道市



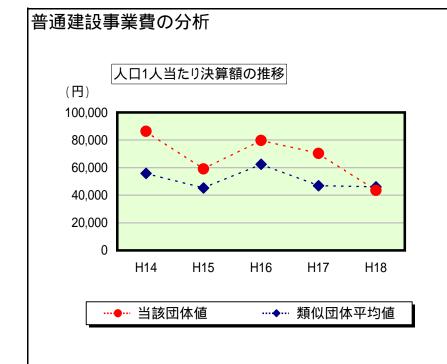






# 歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

広島県 尾道市



#### 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A)-(B)
H14	8,036,445	86,329	7.5	55,752	12.7	5.
うち単独分	5,778,653	62,075	1.2	36,374	9.2	10.
H15	5,480,795	59,039	31.6	45,284	18.8	12.
うち単独分	4,662,687	50,227	19.1	30,802	15.3	3.
H16	9,314,883	79,738	35.1	62,449	37.9	2.
うち単独分	7,466,355	63,914	27.3	41,644	35.2	7.9
H17	10,761,862	70,310	11.8	46,881	24.9	13.
うち単独分	8,822,458	57,639	9.8	30,527	26.7	16.
H18	6,610,752	43,543	38.1	46,072	1.7	36.
うち単独分	4,635,868	30,535	47.0	28,341	7.2	39.
過去 5 年間平均	8,040,947	67,792	10.8	51,288	4.0	6.
うち単独分	6,273,204	52,878	9.5	33,538	4.6	4.9